

同窓会報



「一〇〇周年御礼」

愛知県立国府高等学校同窓会

会長 小田 伊佐浩
(三十一回生)

国府高校同窓会の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は同窓会活動並びに母校の発展のためにご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、今年度も昨年に引き続きコロナウィルス感染拡大防止のため、やむなく五月の総会と六月の定例委員会を中止させて頂いていただきました。しかしながら、三月の定例委員会は開催することができたため、昨年度の事業報告並びに決算・今年度の事業計画並びに予算はご承認いただくことができました。これをもとに、今年度同窓会事業を進めさせて頂いておられますことを、遅ればせながらご報告いたします。残念ながら、総会は昨年に

引き続き中止となりましたが、四十三回生をはじめとする担当回生のご努力により、十月の光風会ゴルフコンペを行うことができました。久しぶりに多くの同窓生が集う機会を作っていたいただき、改めて四十三回生の幹事の皆様に感謝申し上げます。次に、百周年記念事業についてご報告いたします。昨年の正門・中庭等整備完工に続き、三月には、百周年記念誌「国府百年」が発刊されました。「国府校」の百年の歴史が纏め上げられた素晴らしい記念誌となりました。編集に携わった諸先輩・関係者の方々に感謝申し上げます。そして一年延期となりました記念式典・記念講演会は、本

第 65 号

令和 3 年 12 月 15 日

編集・発行

愛知県立国府高等学校同窓会

〒442-8586

豊川市国府町下坊入 10-1

Tel・Fax

0533-82-2673

印刷／大林印刷

年十月三十日に、本校体育館において無事行うことができました。

こちらでも会場変更をはじめ、記念講演の事前収録、オンライン聴講など設営関係者の努力の賜物だと感謝申し上げます。本来なら多くの同窓の方々をお招きしたかった式典・講演会ではありましたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から人数の制限をさせて頂いたことを併せてお詫び申し上げます。

創立百周年記念事業実行委員会は、準備委員会立ち上げから足掛け五年。同窓会員の皆様をはじめとする多くの方々のご協力により予定していた百周年事業をすべて遂行することができました。大島実行委員長共々、重ねて深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響はまだまだ続くと思われませんが、会員の皆様のご健康ご多幸を切に願い、ご挨拶いたします。



創立百周年記念式典謝辞

愛知県立国府高等学校

校長 伊與田 万知
(三十三回生)

十月三十日、一年延期となっていた、本校創立百周年記念式典を挙行いたしました。コロナ禍の中、式典会場とした本校体育館には、三年生のみが入り、一・二年生は、教室にてオンライン視聴するという異例の式典となりました。御来賓につきましても、できる限り多くの方々にご出席いただきたかったのですが、規模を縮小しての開催となりました。多くの方々への感謝の気持ちを伝えるべく、当日の「校長謝辞」を掲載させて頂いていただきます。記念事業完遂にあたり、すべての同窓生の皆様に心より感謝申し上げます。

本校は、大正九年「穂の国」の中心地、この国府の地に設立された宝飯郡高等女学校を前身としています。大正十二年、県立へ移管、昭和二十三年新制高校として国府高等学校と改称、豊川市立高等学校との統合を経て、現在に至っています。

百年前の宝飯高女設立の機運の高まりは、明治十四年県下二番目の公立中学校としてこの国府の地に開校された宝飯中学校に遡ることが出来ます。明治十九年の中学校令によりわずか五年にてその幕を閉じました。福沢諭吉が視察に訪れるなど、近代日本の先進校としてその名を歴史に刻みました。本校

の創立はまさに、この宝飯中学を源流とし、この地域の皆様からの期待に支えられて成し遂げられたものだと思っております。この百周年を迎えるにあたり、正門整備、新スクールマークの創造、国府高女時代の旧校訓碑の発見など、様々なことがありました。その度に、改めて、創立以来受け継がれている本校の伝統とは何かを振り返る機会となりました。

その伝統とは、「自由」闊達な雰囲気と、新たなものを創造する力があります。「自由」という言葉は、校歌の中に高らかに歌われてもいます。自由とは、自己を律し、自らが定めた高い志を求め、邁進する自由な意思であります。また「創造」とは、国府高女の旧校訓碑の三つの言葉の一つに使われています。新たな時代を自ら先頭に立って創り出す精神であります。この自由と創造を求め志が、現在の本校の校風の中に脈々と受け継がれています。

本校は、創立百周年を契機として、長き良き伝統、校風をさらに発展させるとともに教育のさらなる充実のため今後も最善の努力をする決意であります。今後とも一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます、謝辞いたします。

本校は、創立百周年を契機として、長き良き伝統、校風をさらに発展させるとともに教育のさらなる充実のため今後も最善の努力をする決意であります。今後とも一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます、謝辞いたします。

令和3年度 同窓会総会・担当回生から寄稿いただきました



令和3年度総会は、5月16日(日)に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため昨年度に引き続き、中止とさせていただきます。そこで、総会・懇親会のため尽力いただいた担当回生の23、33、43、58回生の代表の方からご寄稿いただきました。

担当回生には、郵送希望者以外の方も今回、特別に会報を送付しました。



卒業から半世紀

二十三回生 星野 伸也

私達は、一九七一年(昭和四六年)春の卒業です。七〇年安保闘争、学園紛争も終焉を迎え新たな時代に入りました。この年、同窓会館(光風会館)が着工されました。

時が過ぎて三〇年。二〇〇一年同窓会総会・懇親会の幹事学年になり皆様の協力のもと執り行なうことができました。秋には九・一一アメリカ同時多発テロ勃発。

卒業四〇年の二〇一一年には三・一一東日本大震災が起きました。

そして卒業五〇年の今年、新型コロナウイルス蔓延により前年に引き続き総会・懇親会は中止になりました。



しかしながら、幸いにも、去年の創立百周年の記念事業は皆様のご協力・ご支援により達成できました。

私も二十三回生は、今年で七十七歳を迎える来年秋に計画し準備に入っています。多くの方の参加と再会を楽しみにしています。



一三〇〇年前に国府(こくふ)

本宿をも含む本校学区内は、昭和五三年当時からは一応変わったかですが、都会と比較すれば、幸い昔のままのところが多いです。東京の我が元下宿付近は余りの変わり様に少し残念さを覚えました。地元には小さい頃通ったそろばん塾も未だあり、自転車を通った通学経路の道はほほ昔のまま。



やはり変わらない心の故郷

三十三回生 早川 真一

が設置され、圧倒的に長い歴史と伝統、そして人情味も名古屋他地域と比べてもあります。

未だスタバもなく、ホームセンターもカーマのみ、高級食パンの長谷川は午後四時でも売り切れていない一方、キラリと光る個性的な名店は散在するなど、実に質実剛健で豊川らしい。インテリ振らないところもまた魅力(笑)。

最後に、私は現在弁護士をしています。ゲートルマップで「豊川 フローラ法律事務所」で出て来ます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。





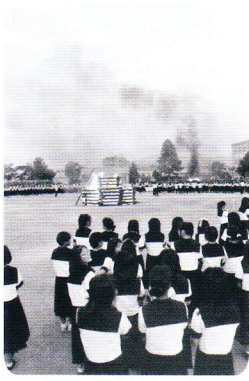
コロナ禍の中の同窓会

四十三回生 井指 宏隆

五月十二日から愛知県に緊急事態宣言が発令されることになり、今年の国府高校同窓会総会、懇親会は二年連続で中止となりました。

私たち四十三回生幹事団は昨年の九月からZOOMでのオンライン会議からスタートし、毎月一度集合し、例年とは違う感染症対策を考慮した同窓会を開催するべく準備をしてまいりました。

幹事会の中でもコロナ禍の開催を中止にすべきだという意見も当然ありました。しかしながらこの伝統の国府高校同窓会総会、懇親会を開催することにより現役世代の高校生活をサポートする為の資金が捻出されていることを知り、今回の同窓会はたとえ参加者が例年よりも少なくなっても次世代に繋ぐ同窓会にしようという総意になり、準備を進めてまいりました。



この準備期間中に一番苦労したのが参加募集でした。コロナ禍であり、ハガキ案内だけでは返信も少なく、人数を集めるための食事会等も開催することができないため、同窓会に登録されている電話番号に一人一人電話連絡をし、人数集めを行いました。なかなかつながらない方もいましたが徐々に同窓生の声を聞く機会が得られたのは貴重な体験でした。

最後にこの同窓会を企画するにあたり様々な助言やアドバイスを下さった先輩方や、同窓会の役員、学校関係者の方々に心より感謝申し上げます。

開催することはできませんでしたが、卒業三十年の年に同級生との関係をもてたことは今後



の人生にも貴重な体験でした。ありがとうございました。



第二十九回 光風会ゴルフコンペ

昨年度は、開催を見送りましたが、本年度は百周年記念大会と称して十月一日(金)に平尾カントリークラブで開催し、清々しい秋空のもと総勢一二三名の卒業生が参加しました。

今回は、コロナ感染対策として開催方法を見直し、安全な環境の中で同窓生とのラウンドを楽しんで頂きました。大勢の方に参加いただきました。ありがとうございました。



優勝者は、三十回生の清水和彦さんでした。
次回三十回大会は、令和四年十月七日(金)の予定です。
四十三回生 大橋敦司



大切な時間

五十八回生 松倉 春陽

卒業から十五年、初めての同窓会総会、懇親会。五十八回生事務局でオンライン打ち合わせをしたり久しぶりに同期生と連絡を取り合ったりする中で、懐かしい記憶がよみがえりました。

陸上部で仲間と励まし合いながら走ったこと。部活後、部室で過ごした楽しい時間。大好きだった数学や生物などの授業。受験勉強と称して友達と教室に居残ったこと。廊下に座り込んで食べたお弁当。体育祭のマス

コット作り、クラスマッチ、文化祭などの行事。どの思い出の中にも一緒に過ごしてきた友達と恩師の姿があります。そんな何気ない日常を懐かしく思うと同時に、その時間の大切さを今改めて感じています。

新型コロナウイルスの影響により、今年度の同窓会総会、懇親会はできませんでしたが、開催に向けて尽力してくださっている方がたくさんいることを知りました。十五年後には私たちが担当回生となります。多くの



方への感謝を胸に、五十八回生で一丸となって素敵な会にできたらと思っています。



張り切ってます！
我が同窓生

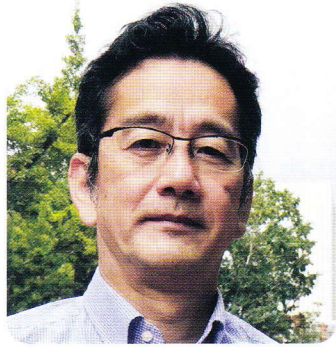
「想定外を
超えてゆく」

三十四回生 近田 誉

北海道札幌市に暮らして三十余年が経つ。愛知県から直線距離で約九八〇キロも離れたこの街でこれほど長く暮らすこととなるなど国府の学舎を卒業した約四十年前にはまったく想像もしていなかった。

今夏、この街で当初、予想していなかった催しが行われた。オリンピックのマラソンと競歩。ケニアのキプチョゲや日本の大迫傑、豊橋出身の鈴木亜由子(高校は時習館)らが札幌の街を駆け抜けた。

東京五輪なのに札幌で、二〇二〇大会なのに二〇二一年。この奇妙で予想外の巡り合わせは二〇一九年の秋に突然、会場が札幌に変わるといふ話が持ち上がり、さらにコロナ禍に見舞われ大会が一年延期されることで起きたというのはご存知



の通り。無観客、沿道での観戦自粛、コロナ下で、こうした形で五輪が開催されるのも全くの想定外だった。

思い返すと私の高校時代にも五輪にまつわる「事件」はあった。アメリカや日本がボイコットしたモスクワ五輪の開催。五輪招致に名乗りを上げた名古屋がソウルに取れたのもその頃のことだった。

当時、陸上部に所属していた私は関東の大学を志望し、箱根駅伝での活躍を経由して五輪に出場するような選手になれるのではないかと夢を描いていた。

名古屋五輪なら自国開催、地元の名古屋五輪なら自国開催、呼ばれる私学などではない、公立高校出身とならば中日新聞が大きく取り上げてくれるのではないか。妄想は膨らむばかりだった。

校庭での練習の他に、弘法山の坂道ダッシュ、遠見山や五井山の登山道や遊歩道、音羽川とほたりや旧東海道、御津街道とその先の御津海岸など学校周辺に練習コースを見つけて走った。自転車のペダルを踏んで、ある

いは名鉄に飛び乗って市外にも出かけ、他校の練習に飛び込んだこともあった。

ただ、五輪の夢計画など想定通りに行くはずもなく高校二年で東海大会に進んだものの結局、全国大会は経験することができなかった。

名古屋が敗れ自国開催ではなくなった一九八八年のソウル五輪の頃にはもう走ることは辞め、就職したラジオ局の編集室で音声ニュースをつないでいた。縁あって北海道に転職、テレビ放送の仕事に携わるようになったのが約三十年前。北海道ではスポーツ報道を担当、マラソン中継では陸上部での経験が生きた。

札幌での東京五輪には直接関わることはなかったがマラソン中継に関してはオーストリヤになれたという自負もある。

高校時代の妄想はあえなく終わってしまった私だが『夢を抱く人たち』の姿を追いかける側になった今、予期せぬことにも立ち向かい、プラスに変える力に元気づけられている。

愛知県豊川市八幡町生まれ
豊川市立八南小学校、豊川市立中部中学校、国府高校、明治大学
日本短波放送(ラジオたんぱ、現ラジオエフエム)、北海道文化放送
明治大学では体育会競走部に所属
ラジオ、テレビではアナウンサーとしてスポーツ実況、ニュースなどを担当
一九九一年に入社した北海道文化放送では自社制作番組のマロン、スキジャンプ、女子ゴルフなどを始め、シテレビ系列のマロン、駅伝中継なども担当
一九九五年の有森裕子の復活優勝を始め「北海道マロン」は一九九二年から二〇二一年まで実況アナウンスを担当、二〇〇年のヘルシンキマロンでは高橋尚子の世界記録(当時)をオートバイからリポートした。
二〇〇九年十月からスポーツ部に所属
ドキュメンタリー番組、映像記録、スポーツニュースデスク、スポーツ番組のディレクター、プロデューサーを歴任
受賞歴「バツケンレコードを越えて」で二〇〇八年FNSドキュメンタリー大賞受賞

[令和4年度総会・懇親会]

- 日 時：令和4年5月15日(日)
開始時間については、各回生代表からお知らせします。
- 会場：国府高等学校体育館
- 会費：5,000円
- 該当回生：24回生(卒業50周年)
34回生(卒業40周年)
44回生(卒業30周年)
59回生(卒業15周年)

※準備等の都合により当日の申込はできません。
事前にお申し込みください。
(同窓会事務局(購買) 電話 82-2673)
実行委員長 44回生 栗山 輝

※新型コロナウイルス感染症の状況により変更・中止する場合があります。

[ゴルフコンペのお知らせ]

- 日 時：令和4年10月7日(金)
- 会場：平尾カントリークラブ
- 定員：200名(予定)
- 申し込み等：44回生担当から各回生にお知らせします。

令和三年度同窓会役員

会長	小田伊佐浩	1組	中村優真
副会長	原田利恵	2組	影目桃羽
	大島嗣雄	3組	青野大成
	関原秀一	4組	木下奈美
	宮地良和	5組	伊藤雅也
	佐村大介	6組	中田葵
	鳥山淑子	7組	鈴木敬介
会計	中山武久		渡邊実奈
会計監査	木村晋也		松山康紀
書記	大谷敏之		仙波優衣
顧問	中村敏行		川合幸志
	林矩道		小川純
	和久田強		鈴木美優
	片桐逸司		
	山脇実		
	伊田万知		
	山田介三		
	大河原皓		
	中島原剛		
参与	恩田やす恵		

○印は年次代表(学年幹事)

創立百周年記念式典・講演会が 開催されました



知県立国府高等学校 創立100周年記

令和三年十月三十日(土)本校体育館において創立百周年記念式典及び記念講演会が開催されました。

昨年十月に予定していた同式典及び講演会でしたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から一年延期する中で、コロナ禍でいかに開催できるかを実行委員会で検討してまいりました。体育館では席の間隔を開けたり、一、二年生は、教室でリモートで参加するなど感染対策に万全を期しました。

式典では、国歌演奏、物故者への黙祷、大島実行委員長の挨拶、大村愛知県知事、度会県教育委員、竹本豊川市長の来賓祝辞、実行委員会から記念事業の報告、山脇前同窓会長が代表としての感謝状贈呈、生徒代表による誓いの言葉、校長謝辞、校歌演奏と厳粛に進められました。

式典後、生徒会及び百周年記念プロジェクトの皆さんが作成した記念ムービーが披露されました。また、記念ムービーに出演された同窓生の渡辺いつけいさん(三十三回生)、中森康弘さん(三十二回生)、市川和正さん(二十九回生)からご挨拶をいただきました。

午後からは、歴史学者の磯田道史氏による記念講演会が開催されました。都合により事前収録によるビデオでのご講演でしたが、「繋ぐ一〇〇年、紡ぐ一〇〇年」穂の国の国府の学び舎」というテーマで、この地域の歴史を本校の歴史に関連付けて講演されました。本校創立百周年にふさわしい素晴らしいご講演でした。エンディングでは、国府高等女学校校歌と国府高等学校校歌が、生徒会が作成した本校百年のスライドと共に演奏されました。



創立百周年によせて

創立百周年記念事業
実行委員会委員長
大島 嗣雄 (三十一回生)

この度、愛知県立国府高等学校が創立百周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

創立百周年にあたり、お陰様をもちまして、以下の記念事業を行うことができました。

○正門・中庭等整備事業

創立八十周年時に掲げられた「記憶に残る風景の創造から新たな記憶の創出」「正門・中庭等整備事業」がついに完成に至りました。生徒たちは新しい本校の門をくぐるたびに、受け継ぐ伝統を感じ輝かしい将来に思いを馳せることでしょう。

○スクールアイデンティティ (S-I) 事業
同窓生、在校生、教職員がひとつになつて共有の価値観を導き出したことは、次の二百周年に向かって大切な道標となると確信しています。

○百周年記念誌発刊
創立百周年記念誌「国府百年」を発刊いたしました。多くの同窓生の痕跡を可能な限り収集し、百年の軌跡をまとめ上げています。

最後に、これまで国府高校にお寄せいただきましたご支援に対し、厚くお礼申し上げますとともに、今後も国府高校の充実と発展のために一層のご鞭撻とご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

【訃報】元同窓会長和久田強氏が逝去されました

元同窓会長で同窓会顧問和久田強氏は去る令和三年七月十日永眠されました。葬儀告別式は、七月十三日家族葬にて執り行われました。
氏は昭和五十九年度から平成二年度までの七年間、同窓会長

として御活躍され、その間七〇周年記念事業を成功裏に収められたほか、本同窓会に多大な御尽力を發揮していただきました。謹んで哀悼の意を表すとともに心よりご冥福をお祈りいたします。

令和三年度 人事異動

◆ご転出の先生方

- 加藤 雄一 事務長 退職
- 鈴木 康真 教諭 退職、岡崎東高等学校へ
- 青竹 秀樹 教諭 退職、知立高等学校へ
- 鳥島 知之 教諭 豊丘高等学校へ
- 萩生 真愛 教諭 刈谷東高等学校へ
- 鈴木 千花 教諭 西尾東高等学校へ
- 深沢 国良 再任用教諭 豊橋南高等学校へ
- 山口 耕嗣 再任用教諭 豊橋南高等学校へ
- 久保 雅弘 再任用教諭 退職
- 鈴木 裕次 再任用教諭 退職
- 森田真理子 臨時的任用教諭 成章高等学校へ
- 小林 真琴 一般職非常勤職員 小坂井高等学校へ

◆ご転入の先生方

- 浅井 智博 事務長 観光振興課から
- 岡本 篤史 教諭 豊橋工業高等学校から
- 白井みちよ 教諭 新城東高等学校から
- 鈴木 泰志 教諭 田原市立田原中学校から
- 吉川 千尋 教諭 新城東高等学校から
- 村田真由香 教諭 新規採用
- 秋山 華穂 教諭 新規採用
- 佐藤 葉保 教諭 新規採用
- 牧野 浩 再任用教諭 成章高等学校から
- 原田 則夫 再任用教諭 小坂井高等学校から
- 松井 秀成 再任用教諭 小坂井高等学校から
- 河合 健 再任用教諭 御津高等学校から
- 原田 雅紳 再任用教諭 御津高等学校から
- 三輪 淑登 主事 新規採用

部活動の結果・成績

水泳部尾崎琴羽さんが東海高等学校総合体育大会に出場しました

水泳部の尾崎琴羽さんが、令和三年六月二十六日に行われた愛知県高等学校総合体育大会において、女子一〇〇mバタフライで六位入賞し、七月二十四日に三重県鈴鹿市で行われた第六十八回東海高等学校総合体育大会に出場しました。

◆水泳部

尾崎琴羽さんのコメント

私は高校に入学した時からずっと東海大会出場を目標に日々練習に励んできました。

一度も満足する結果を出すことは出来ずに高校三年生を迎えてしまったので、集大成である今年の夏こそは絶対に結果を出したいと思い、部活動だけでなく自主練習により力を入れて取り組みました。学業との両立をしながら東海大

会、全国大会出場を果たした姉の存在も大きな影響です。

私も自身の集大成としてなんとかしても大舞台で泳いで終えたいとより強く思うようになりました。強い気持ちと今までの努力が実り、県大会で六位入賞することができ、東海大会出場が決まったときはすごく嬉しかったです。

東海大会当日は初めての大きな大舞台にとっても緊張しましたが自分の泳ぎをしようと心がけ全力で泳ぎました。



自己ベスト更新には至りませんでした。目標達成のために全力で努力してこれたことに大きな達成感を味わうことができました。応援してくださった方々に感謝しています。ありがとうございます。

◆水泳部 顧問

松坂知洋先生のコメント

本年度、三年七組の尾崎琴羽さんが女子一〇〇mバタフライで県大会第六位入賞し、東海大会出場を決めました。昨年度は新型コロナウイルスのため、高校総体そのものが予選から行われませんでした。一年ぶりの総体に参加できること自体に感謝しながら、参加した総体予選でした。

東海大会に行けるのは県大会決勝で八位までです。東三河予選のタイムでは県で十一位でした。しかし、決勝では前半五〇mを非常に速く入ったので、後半がどうなるのかと心配していましたが、タイムを落とさず私学の強豪たちを振り切って六位入賞できました。

東海大会では全体の十一位で全国大会は逃しました。しかし、東海大会は行った選手にしか解らない貴重な体験で、人生の大きな財産になったと思います。

最後に、東海大会壮行会として校長先生の激励や同窓会からの応援をいただいたこと、また全校放送で尾崎選手ならびに水泳部を紹介して頂きました。これから部員全員で練習に励み、大きな大会に進めるように努力していきたいと思えます。

部活動結果報告(十二月・八月)

※総体や新人戦については県大会以上出場の成績のみ掲載

【陸上競技部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河予選会
- 男子 やり投げ 6位
- 400mH 6位
- 4×400mR 6位
- 女子 三段跳び 5位
- 走り幅跳び 6位
- 800m 5位

【サッカー部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会 準優勝
- 高岡宮杯サッカーリーグ 東三河地区I部II部 優勝

【卓球部】

- 国民体育大会少年の部 東三河支部予選会
- 男子 シングルス 13位
- 女子 シングルス ベスト8

【ハンドボール部】

- 愛知県高等学校新人体育大会 東三河支部予選会
- 男子 3位

【硬式テニス部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会
- 男子 ダブルス
- 男子 ダブルス
- 男子 準優勝
- 女子 3位

【ソフトテニス部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会
- 男子 個人戦 9位

【バスケットボール部】

- 愛知県公立高等学校商業科体育大会 男子 個人戦 ベスト16
- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会
- 男子 3位

【剣道部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会
- 男子 団体戦 4位
- 個人戦 4位
- 女子 団体戦 4位
- 個人戦 8位

【弓道部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会
- 男子 団体戦 3位
- 個人戦 4位
- 女子 団体戦 予選通過
- 個人戦 優勝

【柔道部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会
- 男子 団体戦 3位

【体操部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会
- 女子 個人総合 準優勝

【水泳部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 東三河支部予選会
- 女子 50m自由型 4位
- 50m自由型 7位
- 100mバタ 4位
- 100m背泳ぎ 7位
- 100m平泳ぎ 6位
- 200m背泳ぎ 5位
- 200m個メド 6位

【書道部】

- 岡崎総合書展書道部門 岡崎総合書道会賞 1名
- 奨励賞 3名

【書道部】

- 愛知県高等学校総合体育大会 女子100mバタフライ6位
- 第68回東海高等学校総合体育大会 女子100mバタフライ11位

令和3年3月 卒業生進路状況 (既卒生含む)

令和2年度の大学等入試結果および就職状況は次の通りです。第73回生は共通テストが初めて実施されるなど、入試制度が大きく変更され、またコロナ禍に伴い、いろいろと制約の多い受験および就職活動となりました。

普通科については、名古屋大1名(現役)が合格したのをはじめ、国公立大学へ105名(現役99 浪人6)が合格を果たしました。コロナ禍の影響により受験校は地元志向が強くなる一方で、合格校は東北から九州まで全国に広がっており、自分のやりたいことを求めて最後まで粘り強く頑張り続けた結果が伺えます。私立大学については、早稲田・明治・法政・青山学院・東京理科・同志社・関西・立命館など県外の有名私立大学をはじめ、南山大44名、愛知大92名、名城大134名など愛知県内の大学にも多数合格を果たしました。

総合ビジネス科については、名古屋学芸大や愛知学院大、金城学院大等四年制大学をはじめ短大・専門学校への進学者が過半数となりました。就職状況は、生徒本人の希望にもとづき、地元の優良企業を中心に事務職・技能職など16名が就職をしています。

※以下の進路状況は、令和3年4月現在、本校で把握しているものです。

【普通科】※例年普通科7クラスであるのに対し、第73回生は6クラスですので御留意下さい。

Table with 2 columns: 国公立大学 (大学名, 合格者数) and a list of universities with their respective counts.

Table with 2 columns: 私立大学 (大学名, 合格者数) and a list of private universities with their respective counts.

Table with 2 columns: 国公立短期大学 (短期大学名, 合格者数) and a list of short-term public universities with their respective counts.

Table with 2 columns: 私立短期大学 (短期大学名, 合格者数) and a list of private short-term universities with their respective counts.

Table with 2 columns: 専門学校 (学校名, 合格者数) and a list of vocational schools with their respective counts.

Table with 2 columns: 就職 (就職先, 人数) and a list of job positions with their respective numbers.

Table with 2 columns: 就職 (就職先, 人数) and a list of job positions with their respective numbers.

Table with 2 columns: 就職 (就職先, 人数) and a list of job positions with their respective numbers.

Table with 2 columns: 総合ビジネス科 (大学名, 合格者数) and a list of universities for the Business Administration course with their respective counts.

Table with 2 columns: 短期大学 (短期大学名, 合格者数) and a list of short-term universities with their respective counts.

Table with 2 columns: 専門学校 (学校名, 合格者数) and a list of vocational schools with their respective counts.

Table with 3 columns: 就職 (就職先, 人数) and a list of job positions with their respective numbers.

本年いただいた寄付金

- ◆同窓会総会担当回生
 - 高33回生 200,000円
 - 高43回生 50,000円
 - 高58回生 10,000円
- ※高23回生については来年度寄付予定です。
- ◆「同窓会活動協力支援」寄付金 302名 955,380円

ご寄付ありがとうございました

今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

ご確認ください

- 今回、1枚又は2枚の振込用紙を同封いたしました。
- 1枚は、令和4年度の会報66号～令和6年度の会報68号までの郵送代金振込用紙です。(既に振り込まれた方には、同封していません。)
- 振込先：郵便局 00830-2-53271
- もう1枚は、「同窓会活動協力支援」寄付募集の振込用紙です。随時・適時に、よろしく願い申し上げます。
- 振込先：郵便局 00860-7-215194

※令和4年1月17日より郵便局から現金で振り込む場合、料金(110円)が払込者負担として加算されます。

M S F Mitaki Space Factory
Architectural Design ミタキスペースファクトリー

community cafe
Fun Factory

代表 井上 貴仁(第43回生)
井上 暁子(第43回生)

〒442-0029 豊川市末広通3-16-1
TEL/FAX(0533)80-0066
http://www.mitaki.net/

記念写真・証明写真・出張撮影
スクールフォト・カラープリント即日仕上げ

Photo SUZUKI 鈴木写真館
ince 1935.

名鉄国府駅前
〈TEL〉0533-87-3271

豊川市久保町榎田13(HP) www.p-s-net
〈営業時間〉火曜定休(祝祭日除く) AM9:00~PM7:00
鈴木一生(42回生)・鈴木洋子(44回生)

印刷一般

大林印刷

大林 久美栄(国高13回)
大林 久子(国高38回)

豊川市久保町下屋敷39番地
TEL(0533)88-2281
FAX(0533)88-6299

HAKUYO

株式会社ハクヨーコーポレーション
http://www.hakuyo-group.com/

三重県英虞湾真珠協会

会長 磯和 和治
三重県志摩市志摩町越賀

(株)英虞湾真珠協会エンタープライズ
代表取締役・協会常務理事 竹本 潤 26回生
豊川市八幡町本郷

お客様ご案内センター 0533-87-3703

有限会社
ミト小田鉄工所

代表取締役
小田 伊佐浩 (31回生)

〒441-0321
豊川市御津町広石五反田31番地
TEL 0533-76-2720 FAX 0533-76-3093

おかげさまで創立90周年
総合建設業

(株)柘植建設
TSUGE 柘植 敬介(第43回生)

豊川市久保町向田1番地の10
TEL(0533)88-3207

waltz
ワルツ株式会社

片桐 逸 司(国高15回)
片桐 近 義(国高17回)

本社 〒441-8077 豊橋市神野新田町二の割2-1
Tel(0532)33-3510 Fax(0532)33-3515

超高層ビルから住宅まで鉄骨建築のエキスパート
国土交通省認定 Hグレード

東和鋼業 株式会社

〒442-0824 愛知県豊川市下三山町高畑6番地
http://www.fab-towa.co.jp

◆自動車内装用部品製造◆
◆工業化住宅用部品製造◆

宇都宮工業株式会社

土井 義昭(国高8回)

本社/豊川市大木町柏木2番地1
☎(0533)93-2626(代)

新城工場/新城市八名井字赤松1番7
☎(0536)26-1680(代)

健康大業で食文化の彩りを創る

熊谷園芸

熊谷 隆(第42回生)

〒442-0804 豊川市二葉町中西浦26
TEL (0533)89-2552

宮地総合保険 × SDGs
創業55周年

代表 宮地良和 (第34回生)
宮地 歌奈子(第35回生)
山下 由紀(第35回生)

豊川市豊川西町58
(豊川稲荷正門北150m)
☎0120-86-2414

健康経営優良法人
2021

和久田歯科医院

高35回生 和久田 交史

豊川市蔵子1丁目26番地44
TEL 0533-86-3465

大切にしたい、ほっとするひと時

いさし園

代表取締役社長 井指 宏隆(第43回生)
井指 美紀(第43回生)
井指 妙子(第19回生)

井指製茶株式会社

本社工場 愛知県豊川市市田町大道下22-2
TEL(0533)86-2273(代) FAX(0533)84-3811
http://www.isashien.jp/

建物の塗装・防水工事のことならご相談下さい

株式会社杉村塗装

代表取締役
杉村 大介(第43回生)

〒442-0845 豊川市国府町上河原4番地の2
TEL0533-87-5410 http://www.peintre.co.jp